

見て、  
着て、  
感じて、  
日本の夏

暑い古都の夏を、視覚からも涼しく乗り切ります。  
(遊歩道)

## 夏の風物詩、浴衣。

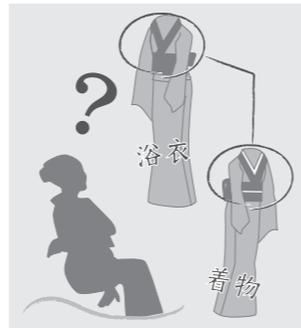
### 浴衣 着る時・場所

もともと浴衣は、湯上りに着るものでした。日中に着るのはあまりお勧めできません。また正装ではないので、改まった場に着ていくことは避けておくほうが無難です。夕涼みに出かけるときなどに、気軽に着ていきましょう。



### 浴衣 着物との違い

まず素材が異なります。浴衣は綿やポリエステルが中心ですが、着物は絹、綿、麻、ウール、ポリエステルなど種類によってさまざまです。さらに、着付けの仕方も若干異なります。着物の場合は半襟(「ゆかし知りたし」参照)など、使う小物が浴衣と比べて格段に多くなります。



### 浴衣 男性用の浴衣

「浴衣」というと女性の艶姿をイメージする方も多いようです。しかし、実は男性用の浴衣もあります。おはしより(「ゆかし知りたし」参照)を作る必要がないので、女性が浴衣を着る場合よりも簡単に着られるようです。男性も浴衣に挑戦してみたいかたがでしょうか。



## 夏を彩る、小物たち。

### 扇子、うちわ

涼風を生み出す実用性を備えつつ、絵柄も楽しめる芸術作品です。折りたたむためのものが扇子で、折りたためないものがうちわとされています。冷たい空気は下のほうに流れていくので、下から上へと扇ぐほうが効率よく涼を得られるでしょう。浴衣を着たときは、帯に挟み込んで持ち運びましょう。



冷房に頼らず、  
扇子片手に夕涼み。

### 巾着

小さいかばんの代わりに気軽に使えるのが、巾着の魅力です。身の回りのものを入れて活用しましょう。底板が入ったものは、たくさんものが入ります。好みの柄を選び、さまざまな装いを楽しみましょう。夕涼みに出かけるとき、祭に出かけるとき、片手にぶらりと下げていくと様になります。



巾着片手に、  
ふらり歩く夏の街。

### 下駄

素足に履く下駄は、足元から涼しさを演出します。靴とは異なり、踵が少し出るように履くのが粋とされているようです。足の長さではなく、幅によって男物・女物が分かれています。鼻緒で指の間が擦れてしまうときは、鼻緒を引っ張って緩めたり、絆創膏を張ったりするといいでしょ。



カランコロン、  
耳で感じる涼しさ。



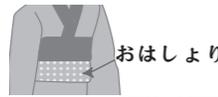
涼やかな装いで、  
古都の夏を楽しまん。

### ゆかし知りたし

はんえり  
半襟  
襦袢(着物用の下着)の襟に付ける替え襟。着物の襟元からのぞいている。



おはしより  
着物を着て腰紐を結んだときに余る布の部分。帯の下からはみだしている。



はみだし  
すてーじ

徹夜明けの大文字登山は清々しさすら覚えます。  
⇒私の友人は、日の出を拝むために大文字登山に挑んでいました。

(薬・2 G無礼)  
(西からのぼった太陽が……? ; 編)

はみだし  
すてーじ

犬と猫を飼ったら、名前はパブロフとシュレディンガーにしようと思っています。  
⇒驚くなかれ、私はパブロフとシュレディンガーを飼っています。ベルを鳴らさない食事を食べなかったり、放射性物質の管理が難儀だったり、共同生活は艱難辛苦に満ちあふれています。

(工・3 風霊守)  
⇒大家さんにばれないようにね ; 編)